



工業 工作機械 中国に照準

摩擦圧接機 サービス体制強化

【名古屋】イヅミ工業（愛知県大府市、片山巖社長、0562・47・3141）は2012年春までに摩擦圧接機とブラシ、販売・サービス体制を強化する。中国向け工作機械事業の売上高を現在の約30億円から15年に50億円にする方針だ。摩擦圧接は部品同士を

摩擦熱と圧力で接合する技術で、高強度で異種金属の接合もできる。7月発売の新機種「FW30H S-11写真」は従来の単軸から2軸駆動方式とし、振れ精度を6分の1に削減。ビルトインモーターの採用で設置面積を従来機種の3分の2にした。価格は2600万円。「中国でも溶接の自動化や高品質ニーズが強まる」（高橋良彰取締役）とみている。

ブラシ盤は従来機種に比べてコストを40%低減した「MTB700」を9月に発売する予定。設計を見直し、特殊部品をなくした。価格は590万円から。12年春にブラシを2連にした2個同時加工タイプも追加する予定。

同社は中国事業を強化するため、6月に中国事業推進室の人員を6人に倍増した。28日に中国・上海市で開催する「第13回上海国際工作機械見本市（EASTPO2011）」に出展するのを機に、現地営業体制を拡充する方針。

中国市場で攻勢

上海国際工作機械見本市開幕

日本の工作機械・工具メーカー各社が中国市場に攻勢をかける。28日に上海新国際博覧センターで開催する「第13回上海国際工作機械見本市（EASTPO2011）」に各社、自動車や電機、建設機械など投資意欲が旺盛な地場製造業を対象にした低価格機・普及機などを出展する。中国企業は高速加工、工程集約につながる複合化などの加工ニーズを強めている。この二極化に合わせて中・高級機を提案する動きが顕著になっている。

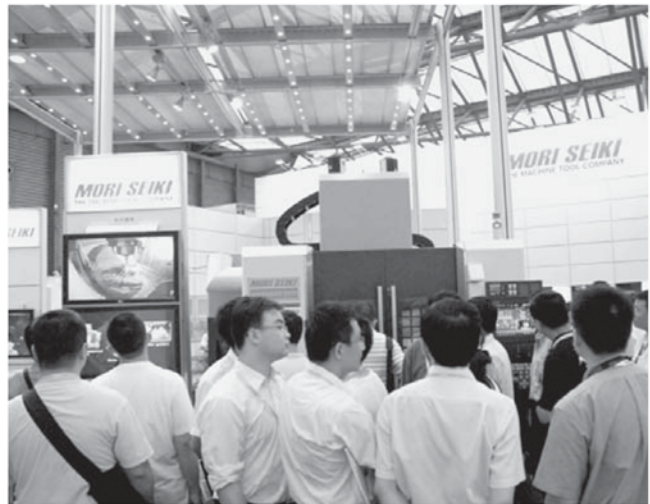
（上海＝村上毅）

◇ EASTPOの会期は7月1日までの4日間。中国や台湾、香港、日本、ドイツなど1126

社が出展する。事務局は前回を超える10万人超の来場を想定している。

ヤマザキマザックは中国生産の現地市場向け普及機を出展するほか、自動車関連で売れ筋の横型

マシンングセンター（MC）、複合加工機などを紹介する。日本企業が強みにしている複合加工性能を広くアピールする。松浦機械製作所（福井市）も5軸制御立型MCのエントリーモデルを出展する。同社は4月に上海事務所を新設した。製品のレベルの高さを示し、市場への浸透を図る。三菱重工業は今春、中国生産を始めた歯車機械の実機を展示する。従来、輸入機（日本製）を購入しなかった現地顧客



ブースに人だかり（前回の会場）

場向け自動旋盤の低価格機を紹介する。ツガミは中国生産の自動旋盤のほか、中国生産を予定している研削盤、転造盤を披露する。中国企業が加工時間の短縮を求めていることを受け、OSGは刃交換式工具、転造工具、ドリルなどの高速加工用工具を展示し、超高速加工による差別化を提案する。また製品単体だけではなく、実用的な加工事例を紹介するケースも多い。森精機製作所は自動車の

界に対応したデモ加工を行う予定。中村留精密工業（石川県白山市）は建設機械の液圧部品にターゲットを絞り、高速・高剛性の複合加工機でスプール加工を演習する。エンジンシユウは立型MCとレーザー加工機を組み合わせて、切削加工後にレーザー加工機で焼き入れする異機種混合ラインのモデルケースを紹介する。

EASTPOは「日本国際工作機械見本市（JIMTOF）」、「欧州国際工作機械見本市（EIMO）」と同様に活発な商談が繰り広げられる。旺盛な投資意欲を反映し、「大型案件のキーマンも来場する重要なセールスイベント」と関係者は期待を寄せる。

中・高級機の提案活発

に対し、日本製と同等の品質の中国製を訴求する。

ブラザー工業は販売代理店を通じて、中国製タツ

る。スター精密とシチズンマシナリーミヤノ（長野県御代田町）も中国市

モーターシャフトや鋼材の重切削、建設機械のウ

オーターポンプなどの業

は期待を寄せる。